

中等
小學
博物書

林光德著
動物之部

全

14

特37

498

319

館		館藏書會育教本日大				和書門
冊	號	三	四	二	三	
		册	號	架	函	

057087-001-4

特37-498

中等小学博物書

林 光德 / 著

M18

CAP-0137



林光徳著

動物之部

中等博物書 小學博物書

東京書林

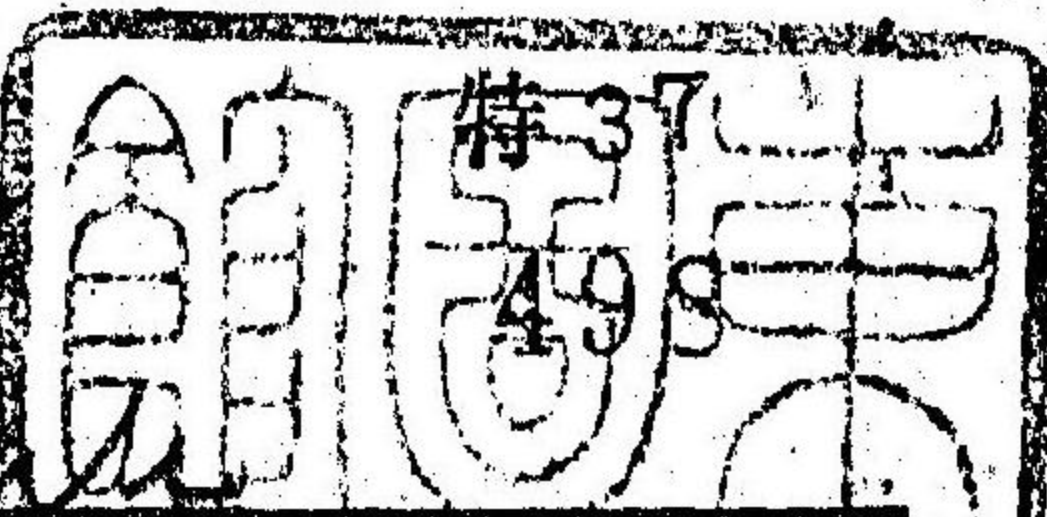
博文堂藏版

中等博物書 小學

凡例

一 此書ハ小學中等科ニテ博物ヲ教授スルノ用ニ供センタメ專ラ其程度ニ據リ我邦通常ノ動物植物並金石ノ名稱部分常習性質効用等ヲ簡單ニ記載セシモノナリ

一 記載ノ順序ハ人ノ耳目ニ觸ル、一最モ屢々ナルモノヨリ漸次稀ナルモノニ及ボサン、一ナレハ小學校ニ於テハ甚ダ望マシキ、一ナレ此望タルヤ某一地方ニノミ限リタル教科書ニア



Prostlog 1092

中等博物書
凡例

此書ハ小學中等科ニテ博物ヲ教授スルノ用ニ供センタメ專ラ其程度ニ據リ我邦通常ノ動物植物並金石ノ名稱部分常習性質効用等ヲ簡單ニ記載セシモノナリ
記載ノ順序ハ人ノ耳目ニ觸ル、一最モ屢々ナルモノヨリ漸次稀ナルモノニ及ボサン、一小學校ニ於テハ甚ダ望マシキナレ此望タルヤ某一方ニノミ限リタル教科書ニア

中等博物書

凡例

博文堂藏版

ラザレバ充タス一能ハズ何トナレバ甲地ニ
多キモノモ乙地ニハ少ク甲地ニハ稀ナルモ
ノモ乙地ニハ珍シカラザル一常ナレバナリ
然ルニ此書ハ一地方ニノ適セン一ヲ圖リテ
著セルモノナラザルヲ以テ止ラ得ズ學術上
ノ順序ヲ逐ヘル所多シ故ニ之ヲ用フルモノ
ハ書中ノ順序ニ拘泥セズシテ務メテ其地ニ
適當ナル順序ヲ逐ヒテ教授スベシ
一 同物ニシテ許多ノ種類アルモノハ其中最モ
著明ニシテ且ツ要用ナル物一二ヲ掲ゲ又形

狀常習等ノ著シク異ラザルモノハ各種ニ通
ジテ之ガ解ヲ下シ**部分**ノ條下ニ最モ著明ナ
ル種類二三ノ名稱ヲ掲ゲタリ故ニ此等ノモ
ノハ何レヲ主トシテ教フルモ妨ゲナシ
一 此書ヲ教授スルニハ實物若クハ標品ヲ用フ
ルヲ主トスルガ故ニ圖ヲ挿入セズ蓋シ圖ニ
シテ完全ナラザレバ此ニ由テ却テ害ヲ招ク
ノ恐レアレバナリ故ニ教師タルモノハ可及
的注意シテ實物標品ヲ索メ若シ止ムコトヲ
得ザレバ相應ノ圖ヲ以テスベシ但シ圖ハ可

成的大ニシテ形狀ハ勿論色澤等ニ至ルマデ
 實物ニ近似セルモノヲ擇ブベシ
 一博物ヲ學ブハ實物ノ知識ヲ得ルニ在リ故ニ
 之ヲ教授スルニハ必ズ初メニ實物若クハ圖
 ヲ示シ先ヅ生徒ヲシテ其名稱ヲ語ラシメ順
 次ニ其授ケントスル諸條ニ就キテ問ヲ設ケ
 生徒ヲシテ實視考察シテ以テ答ヘシメ誤答
 スルトキ他生ヲシテ之ヲ正サシメ或ハ自ラ
 之ヲ正シ再三練習シ充分記憶スルヲ待チ而
 後始メテ書ヲ開キテ讀習セシムベシ此書ハ

モトヨリ只會得セル知識ヲ忘レザルニ供ス
 ルモノニシテ夫ノ實物ヲ離レ徒ニ字句ノ意
 義ヲ講讀誦記セシムルガ若キハ本書ノ旨意
 ニアラザルナリ

明治十八年三月

著者 識

中等博物書

動物之部

林光德著

第一 獸類

① さる 獼猴

部分 顔形ハ人ニ似タリ。赤クシテ且毛ナク。額ニ皺アリ。眼ハ圓ク。口ハ前方ニ突出シ。齒ハ人ノ如ク。其數三十二枚アリ。四肢ハ手ノ如クニシテ。物ヲ握ルニ適シ。腎ニ膀胱アリ。尾ハ長短一ナラズ毛ハ柔カニシテ。密ニ生ジ。多クハ灰色ナリ。

常習

森林ノ中ニ住ミ。果實、菜根ヲ食トス。身體輕捷ニシテ。巧ニニ樹木ニ昇降シ。性、伶俐ニシテ。又夕人ニ馴ル。技藝ヲ教フレバ、能ク之ヲナス。

効用

肉ハ食料ニ供シ。毛皮ハ坐褥トナスベシ。

② かはほり 蝙蝠

部分

體小ニシテ。通例長サ二三寸ニ過ギズト雖モ。或ハ七八寸ニ至ルモノモアリ。耳ハ大ニシテ。眼ハ甚ダ小ナリ。口中ニハ銳キ細齒ヲ具フ。前肢ハ後肢ヨリ長クシテ五指アリ。其中拇指ヲ除クノ外ハ皆頗ル長シ。後肢モ亦五指ヲ具フ。前肢

ノ拇指ト。後肢ノ各指トハ。皆鈞狀ノ爪ヲ有ス。前肢ト後肢トノ間ニハ。薄キ膜アリ。恰モ鳥ノ翼ノ如シ。之ヲ皮膚ト云フ。飛翔ノ具ニシテ。又頗ル銳敏ナル觸感ヲ具フ。毛ハ柔カニシテ。密ニ生ジ。通常暗黒色ナリ。

常習

古屋、巖穴、壁間等ニ住ミ。蚊、蚋、其他ノ小蟲ヲ食餌トス。性、暗處ヲ好ミ。晝間ハ潛伏シ、薄暮ニ至レバ、出デ、飛翔ス。棲所ニ止マルトキハ。後肢ノ爪ヲ以テ、倒ニ懸レリ。冬月ハ、巢中ニ蟄居シテ。外ニ出ヅルコトナシ。

効用 小蟲類ヲ捕ヘテ、食スルガ故ニ、自然、作物ノ害ヲ減少スルノ效アリ。

③むぐらもち 鼯鼠

部分 頭ハ、小ニシテ尖リ。全部略ボ圓錐狀ヲナセリ。耳ハ、外部ニ顯レザレドモ、聽感至テ銳敏ニシテ。能ク些少ノ音響ヲ聽ク。眼ハ甚ダ小ニシテ。毛中ニ隱レ。視力極メテ弱シ。鼻頭ハ強剛ニシテ。自在ニ動キ。嗅感頗ル銳敏ナリ。四肢ハ甚ダ短クシテ、歩行極メテ遲鈍ナリ。然レドモ土中ヲ匍匐スルニハ、頗ル適ス。其前肢ハ、肥大ニシテ、力強ク

外ニ向ヘリ。其指端ニハ、五個ノ銳爪アリ。其形鋏ニ類シテ。土ヲ穿ツニ便ナリ。後肢ハ、前肢ニ比スレバ、稍々小ニシテ弱シ。尾ハ短小ナリ。毛ハ短ク、柔軟ニシテ密ニ生ジ。之ヲ摩スレバ、宛モ天鵞絨ノ如ク、頗ル滑カニシテ、其色ハ灰色ナリ。

常習 性、日光ヲ忌ミ。常ニ土中ニ棲ミ。地下ヲ潛行シ。好ミテ、蚯蚓等ノ如キ、小蟲類ヲ食ヒ。時々地面ヲ墳起シテ、菜蔬ノ害ヲナス。

効用 害蟲ヲ除クノ益アリ。毛皮ハ、刀劍其他ノ鐵器ヲ拭フニ用ヒ。又勝袋ニ作ルベシ。

④ くま 熊

部分 體ハ頗ル肥大ナリ。頭ハ圓ク。口頭ハ尖リ。耳ハ小ナリ。眼ハ圓ク小クシテ輝ケリ。頸ハ甚ダ短シ。喉下ニ新月狀ノ白毛アリ。俗ニ之ヲ月ノ輪ト云フ。四肢ハ強大ニシテ五指アリ。爪ハ鉤曲シテ銳ク。土ヲ掘リ樹木ニ登リ又食餌ヲ裂クニ適ス。尾ハ短小ナリ。毛ハ粗鬆ニシテ黒色ナリ。

常習 深山ニ住ミ冬ハ穴中ニ蟄居ス。果實小蟲等ヲ食トシ殊ニ甘味ヲ好ム。性勇猛ニシテ舉動輕捷ナレドモ平常ハ温和ニシテ活潑ナラズ。後

肢ヲ以テ直立スルコトヲ得。

効用 肉ハ食餌ニ供シ味美ナリ。毛皮ハ坐褥トスベシ。膽ハ醫藥ニ供シテ健胃ノ効アリ。

⑤ ねこ 猫

部分 頭ハ圓シ。耳ハ薄クシテ少シク前方ニ向ヒテ立テリ。眼ハ圓クシテ瞳子ノ形ハ晝夜同ジカラズ。晝間ハ細クシテ正午ニハ鍼狀ニ變ジ。夜間ハ次第ニ擴リテ正圓形トナル。口ノ左右ニハ白キ鬚アリ。口中ニハ銳キ齒アリ。舌ニハ内方ニ向ヘル小刺アリ。四肢ハ短クシテ各肢ノ指頭ニ

ハ、鉤狀ノ銳キ爪アリテ、自在ニ隱現ス。尾ハ長短一ナラズ。毛ハ柔ニシテ、色ハ黒、白、樺、斑等種々アリ。

常習

通常人家ニ畜ハル。好ミテ、肉類ヲ食シ。殊ニ鼠ヲ嗜ム。進退速カニシテ、歩ムニ音ヲ發セズ。性能ク人ニ馴ル。

効用

畜フテ、鼠ヲ驅リ。其害ヲ防ガシムベシ。革ハ、三弦ノ腔ヲ張ルニ用フ。毛ハ、蒔繪ノ筆ヲ製スベシ。

⑥ いぬ 犬

部分

頭ハ長シ。耳ハ直立スルモノト、下ニ垂ルルモノトアリ。鼻感ハ、頗ル銳敏ナリ。口ノ傍ニハ、左右ニ鬚アリ。其中ニハ、上下ニ銳キ牙アリ。尾ハ平常上ニ捲キテ、背上ニ負ヘリ。毛ハ剛クシテ、其色ハ、黒、白、樺、斑等諸種アリ。

常習

常ニ人家ニ畜ハレ。好ミテ肉類ヲ食ス。性活潑ニシテ、能ク人ニ馴レ。養主ニ忠實ナリ。

効用

家ニ畜ヒテ、夜ヲ守ラシム。或ハ狩ニ用ヒテ、鳥獸ヲ捕ラシムベシ。皮ハ大鼓ヲ張リ。又ハ猫皮ニ代ヘテ、三弦ノ腔ヲ張ルベシ。

⑦ ねほかみ 狼

部分 體格犬ニ似テ、稍々大ナレド瘠セ。眼光銳ク。嗅感敏シ。口ハ甚ダ大ニシテ、耳ノ邊マデ折ケ。齒ハ極メテ銳ク。四肢ハ細長ナリ。毛ハ灰色ニ白色ヲ雜フ。

常習 山野ニ住ミテ、群居ス。性兇猛ニシテ、他獸ヲ捕リ食フ。己レヨリ強キモノニハ、群ヲナシテ

敵シ。飢ウルトキハ、屢々同類ヲ食フ。

効用 毛ハ筆トナスベシ。

⑧ きつね 狐

部分 體格犬ニ似テ、稍々小ク。頭ハ大ナリ。耳ハ前方ニ向ヒテ立テリ。瞳子ハ、縦線ヲナシ。猫ノ如ク

晝夜大小同ジカラズ。嗅感頗ル銳敏ナリ。喙ハ尖リ、側ニ鬚アリ、齒ハ銳利ニシテ、堅硬ノ物ヲ、齧ムニ適ス。四肢ニ爪アレドモ鈍シ。尾ハ甚ダ多毛ニシテ、且長シ。毛ハ柔カニシテ長ク、茶褐色ナリ。尾根ヨリ臭氣ヲ放チテ、敵ヲ防ク。

常習 人家ニ近キ、山林等ノ中ニ穴居シ。鳥及ビ小獸類ヲ食ヒ。又果實ヲ嗜ム。食餌餘リアルトキハ、貯藏シテ、他日ノ用ニ供スト云フ。性最モ狡猾

ニシテ、疑心甚ダ深シ。夜間、人家ニ忍ビ入りテ、家禽、雞卵等ヲ盜ミ去リ。或ハ野兎ノ巢窟ヲ侵シテ之ヲ捕殺ス。

効用 肉ハ食スベシト雖モ、臭氣アリ。毛皮ハ帽子、風領衣服等ヲ製スベク。革ハ諸種ノ用ニ供スベシ。

⑨ たぬき 狸

部分 體ノ大サ、狐ヨリ稍々小ナリ。頭ハ長ク、耳ハ短小ニシテ、直立セリ。喙ハ細クシテ尖リ。其傍ニ鬚アリ。齒ハ甚ダ銳シ。四肢ハ短シ。尾ハ多毛ニ

シテ長ク、總狀ヲナセリ。毛ハ深ク、暗灰色ニシテ、處々ニ黒毛ヲ雜ヘリ。

常習 山野ニ穴居シ。夜間出デ、小動物ヲ捕ヘテ食トス。性、狡猾ナリ。

効用 肉ハ食スベシト雖モ、少シク臭氣アリ。毛皮ハ、鞞ノ用ニ供シ。毛ハ筆ヲ製スルニ最モ適ス。

⑩ いたち 鼬鼠

部分 體ハ細長ニシテ。頭ハ圓ク。耳ハ小ナリ。口頭ハ稍々圓クシテ、兩傍ニ長キ鬚アリ。齒ハ極メテ銳シ。四肢ハ甚ダ短シ。故ニ小孔ヲ經過スルニ

便ナリ。尾ハ長クシテ、端太シ。毛ハ柔カニシテ、赤褐色ナリ。

常習

人家、堂社ノ床下。或ハ石垣ノ間隙。又ハ古穴等ニ棲ム。夜間出デ、食ヲ索メ。鼠、雞或ハ池魚等ヲ捉フト雖モ、肉ヲ食ハズシテ。唯其血ヲ吸ヒ。或ハ腦髓ヲ食フニ過ギズ。性敏捷ニシテ。行走甚ダ速カナリ。敵ノ追襲ニアヒ。窘迫スルトキハ。尾根ヨリ。厭フベキ臭氣ヲ放ツ。故ニ犬、猫ノ如キモ。之ガ爲メニ退避スト云フ。

効用

田圃ヲ荒ストコロノ鼠類ヲ捕リ。爲メニ

農家ニ益アリ。毛皮ハ諸種ノ用ニ供スベシ。

① てん 黄鼬

形鼬鼠ニ似テ。之ヨリ大ナリ。毛ハ黄褐色ニシテ、光澤アリ。常習亦鼬鼠ト異ナラズ。毛皮ハ帽子、風領等ヲ作ルベク。毛ハ筆ヲ製スベシ。

② ねずみ 鼠

部分 體小ナリ。喙ハ較々長ク尖レリ。上下ノ腭ニハ、各二枚ノ銳キ門齒アリ。堅牢ノ物ヲ嚙ムニ適ス。此齒ハ、毀損スレバ、隨テ生ジ、發育止ム時ナシ。口傍ニ、剛キ鬚アリ。前肢ニ四指、後肢ニ五指アリ。

リ。各指ニ、鉤曲セル銳爪ヲ具フ。尾ハ長クシテ鱗狀ノ皮アリ。多クハ毛ナシト雖モ、稀ニハ柔毛ノ生ズルモノアリ。毛ハ柔カニシテ短ク。色ハ鼠色ナリ。

常習

人家ニ住ミ。穀物、蟲類等ヲ嗜ム。性、怯懦ニシテ物ニ恐ル。故ニ白晝ハ、暗處ニ潛居シ。夜間人ノ靜ルヲ待チ。戸又ハ壁ノ隙、或ハ穴ヨリ出デ。食餌ヲ索メ。器具ヲ破損ス。動作頗ル快捷ニシテ。行步最モ速カナリ。

効用

害蟲ヲ除クノ効アリ。鬚ハ筆ヲ製スベシ。

⑬ うさぎ 兔

部分

體ノ大サ、概子猫ニ同シ。頭ハ圓シ。耳ハ甚ダ長大ニシテ、自在ニ動搖シ。聽感銳シ。眼ハ圓大ニシテ、尖出ス。故ニ一時ニ周邊ヲ視ルニ適ス。唇裂ケテ、ソノ傍ニ長キ鬚アリ。後肢ハ、前肢ヨリ長シ。尾ハ短クシテ、堅立セリ。毛ハ柔カニシテ、密生セリ。野兔ハ、暗褐色ニシテ。家兔ハ、白、黒斑等種々アリ。

常習

野兔ハ、山野ノ樹間ニ住ミ。家兔ハ、人家ニ畜ハル。草木ノ根、葉、果實、穀物等ヲ食トス。性、頗ル

怯懦ナリ。後肢長キガ故ニ。山ニ上ル₁速カナレ
ル₁下ル₁遲シ。

効用 毛皮ハ帽子、風領等ニ作り。毛ハ織物、筆等
ヲ製スベシ。野兔ノ肉ハ味甚ダ美ナリ

⑭ りー牛

部分 體ハ大ナリ。頭ハ稍々匾シ。頭ノ左右ニ角
アリ。角ノ後方ニ耳アリテ、自在ニ動キ。口ニハ
上腭ニ門齒ナレ。故ニ轡ヲ銜マシムルコト能ハ
ズ。繩ヲ以テ、鼻ヲ貫キ。之ヲ牽ク。頸ノ上部ニ鬣ナ
ク。下部ニ垂皮アリ。四肢亦短クシテ、二個ノ蹄ア

リ。尾ハ細長ニシテ、端末ニ一束ノ毛アリ。毛ハ短
クシテ、通常黒色ナレドモ、或ハ白褐又ハ斑ノモ
ノアリ。

常習 人家ニ畜ハレ。穀物及ビ草類ヲ食トス。牛
ハ、一回吞食ヒレ食物ヲ。再ビ口ニ返シ。又徐カニ
嚙ミテ嚙下ス。故ニ翻芻獸ト稱ス。行歩、動作遲緩
ナレドモ、體力甚ダ強ク、勞働ニ堪フ。

効用 車ヲ牽キ、重ヲ負ヒ、耕作ノ助ケヲナス等。
世ニ益ヲナスコト、甚ダ大ナリ。肉及ヒ乳汁ハ、美
味ニシテ、最上ノ滋養品ナリ。革、骨、蹄ハ諸種ノ器

具ヲ製シ。角ハ彫刻等ニ使用ス。脂ハ蠟燭石鹼等ノ製造ニ用フ。膽ハ健胃劑ノ効アリ。

⑤ ひつど 羊

部分 頭ハ長クシテ。牡ニハ二個ノ曲リタル角アリ。喙ハ稍々尖レリ。四肢ハ細クシテ、二蹄ヲ具フ。毛ハ柔カニシテ、密生シ。卷縮スルモノアリ。長ク垂延スルモノアリ。其色ハ白色或ハ淡褐色ナリ。

常習 人家ニ畜養セラレ。樹芽、芻草等ヲ食トス。性最モ柔順ナリ。

効用 肉ハ、食料ニ供シテ、味美ナリ。乳汁ハ、牛乳ニ次ク、滋養品ナリ。毛ハ剪採シテ羅紗及ビ其他ノ毛布ヲ織ルベク。革ハ以テ種々ノ器具ヲ製スベシ。

⑥ か 鹿

部分 體ハ瘠セタリ。牡ハ牝ヨリ少シク大ナリ。頭ハ長シ。耳ハ、頭ノ後部ニ在リテ、動搖自在ナリ。口ハ小ニシテ。口頭ハ稍々圓シ。牡ハ頭上ニ、枝狀ノ角ヲ有セリ。此角ハ、年々脱換ス。頸ハ長シ。四肢ハ細長ニシテ、各肢ニ雙蹄ヲ具フ。尾ハ甚ダ短シ。

毛ハ茶色ニシテ、白斑アリ。

常習

山野ニ住シ。草芽、木皮、及ビ果穀等ヲ食トス。性温和ニシテ且怯懦ナリ。

効用

肉ハ食用ニ供スヘシ。革ハ諸種ノ器具ヲ製シ。角ハ彫刻。又ハ其他ノ用ニ供シ。毛ハ筆ヲ製スベシ。

⑤ うま 馬

部分

頭ハ長クシテ、頸部ニ長キ毛アリ。之ヲ鬣ト云フ。耳ハ大ニシテ、自在ニ動揺ス。眼、鼻孔モ亦大ナリ。口中ニハ牙齒ナクシテ。門齒ト、齧齒トノ

間ニ、空隙アリ。轡ヲ銜マシムルニ適ス。四肢ニハ、單蹄ヲ具フ。尾ハ長毛ヨリ成レリ。毛ハ鬣及ビ尾ヲ除クノ外、總ベテ短クシテ、密生シ。褐、白、黒、斑等種々ノ色アリ。

常習

人家ニ畜養セラレ。穀物、豆、及ビ牧草ノ類ヲ食トス。性温和ニシテ、能ク人ニ馴ル。筋力强健ニシテ、馳驅甚ダ速カナリ。

効用

人ノ騎乘、荷物ノ牽馱、及ビ耕耘ニ使役シ。其用頗ル廣大ナリ。革、骨ハ、諸種ノ器具ヲ製スベシ。尾毛ハ、編物、刷子等ヲ製スルニ用ヘ。其白色ナ

ルハ、鉤糸トナスベシ。蹄ハ玳瑁ニ代用シテ。櫛筭等ヲ製ス。世ニ之ヲ擬鼈甲ト稱ス。

⑥ わのー、野猪

部分 體ハ肥大ニシテ。頸ハ短ク。頭ハ長シ。眼ハ小ク。鼻ハ大ニシテ、上ニ反リ。嗅感甚ダ鋭敏ナリ。牡ハ、上齧ニ二本ノ、鋭キ牙アリ。上ニ向ヒテ曲リ出ヅ。頸ハ短クシテ、顧視スルコト能ハズ。四肢ハ長カラズシテ。甚ダ強シ。各肢皆二蹄ヲ備フ。尾ハ短小ナリ。毛ハ灰褐色ニシテ粗ク剛シ。背ニアル毛ハ、怒ルキニハ、逆立ス。之ヲ怒毛ト云フ。

常習

山谷ニモ住シ。果實、草、蟲等ヲ食トス。性疎暴ニシテ、能ク獵者ニ敵シ。馳驅甚ダ迅速ニシテ。頭ヲ垂レテ、直進ス。

効用

肉ハ食料ニ供シテ、滋味アリ。膽ハ醫藥トナスベク。皮、牙ハ諸種ノ器具ヲ製スベシ。怒リ毛ハ、刷子トナシ。又革ヲ縫フベシ。

⑦ ぶた 家猪

部分 貌全ク野猪ニ似テ、更ニ肥エタレド。全體ハ小ナリ。喙ハ短ク。牙モ小ニシテ、口外ニ現ハレズ。脚ハ細クシテ、且短シ。毛ハ甚ダ疎ニシテ、色ハ

白、灰白、黒斑等アリ。

常習 性温和ニシテ、芻草ヲ好ミ。其他何品ヲ撰

バス食用トス。動作ハ甚ダ緩慢ナリ。

効用 肉ハ食料トナリ。脂ハ藥トシ。其他種々ノ

用ニ供ス。

⑤ くぢら 鯨魚

部分 形魚ニ類シ。皮膚鱗毛ナク。黒色ニシテ。甚

ダ滑カナリ。長サ四五丈ヨリ。七八丈ニ至ル。動物

中最大ノモノトス。頭ハ巨大ニシテ。大抵體長ノ

三分一二居リ。頭上ニ噴水孔アリ。即チ鼻孔ナリ。

眼ハ頭ノ左右ニ在リテ、極メテ小ナリ。口ハ濶大

ニシテ、齒ナシ。但シ鯨鬚ト稱スルモノアリテ。上

腮ヨリ垂下ス。故ニ巨大ノ食餌ヲ吞ムヲ能ハズ。

前肢ハ、鰭狀ヲナシ。後肢ハ顯レズ。尾ハ魚尾ニ類

スレドモ、其位置ハ水平ニシテ。力極メテ強ク。一

撥以テ、小舟ヲ覆スニ足ルト云フ。

常習 海中ニ住ミ、小魚類ヲ食トス。時々、海面ニ

浮ビ、鼻口ヨリ、海水ヲ噴出シ。以テ呼吸ス。游泳ス

ルコト、甚ダ速カナリ。子ヲ慈愛スルコト深シ。故

ニ人其子ヲ捕フルトキハ、追慕シテ去ラズ。往々

之ガ爲メニ獲ラル、コトアリト云フ。

効用 肉ハ、食料ニ供シテ、滋味アリ。脂ハ、燈油ト

シ。又ハ、蟲害ヲ除クニ用フ。鯨鬚ハ、諸種ノ器具ヲ製シ、骨ハ、肥料ニ供スル等、其用頗ル大ナリ。

第二 鳥類

① とび 鳶

部分 嘴ハ、短ク太クシテ、甚ダ強シ。上嘴ハ、下嘴

ヨリ長ク、其端鉤曲シ。銳利ニシテ、食餌ヲ裂クニ便ナリ。上顎ニ齒アリ。眼ハ圓大ニシテ、視力強ク、

脚ハ、短クシテ太ク、其色黄ナリ。三趾ハ前ニ向ヒ、

一趾ハ後ニ向フ。爪ハ鉤狀ヲナシ、甚ダ銳利ナリ。

翼及ビ尾ハ、共ニ廣大ナリ。羽毛ハ、褐白相雜リテ、

斑ヲナセリ。

常習 海濱ニ近キ村里、及ビ市街等ニ住ミ、蛇蛙

魚類、腐肉等ヲ食ス。天氣清朗ノ日ハ、中天ニ飛揚ス。性剛強ナラザレバ、人、其巢ニ近ク片ハ、勇ヲ奮

テ之ヲ防ク。

効用 腐肉ヲ除去スルノ効アリ。翼及ビ尾ハ、羽

帚トナスベシ。

② ふくろふ 鴉

部分

體肥滿ナリ。頭ハ大ニシテ圓シ。嘴ハ黄色ニシテ甚ダ短ク。上嘴ハ下嘴ヨリ少シク前ニ出テ、鉤曲シテ銳利ナリ。眼ハ圓大ニシテ、正面ニ在リ。其周邊ニ細キ羽毛アリ。脚ハ短クシテ、太ク。全ク羽毛ニ裹マレ、纔ニ曲リタル、爪ヲ露スノミ。三趾ハ前ニ向ヒ。一趾ハ後ニ向ヘリ。羽毛ハ柔カニシテ、密生シ。褐色ニ斑アリ。

常習

晝ハ森林、又ハ朽穴中ニ潛居シ。夜間出テ、宿鳥ヲ脅シ。之ヲ捕ヘテ、食餌トス。又蟲類ヲ食フ。羽毛柔軟ナルガ故ニ。飛翔スルニ當リテ、羽響

ヲ發セズ。鳴聲喚ブガ如シ。人之ヲ忌ム。又家ニ馴養スベシ。

効用

肉ハ、食料ニ供スベシト雖モ、味美ナラズ。又鼠ヲ捕リ、害蟲ヲ捕殺スルノ効アリ。

③ つばめ 燕

部分

嘴ハ黒クシテ、短ク。眼ハ小ナリ。脚ハ細小ニシテ。前趾三個、後趾一個アリ。爪ハ細クシテ、鉤曲セリ。翼ハ甚ダ長クシテ、遙ニ體ノ後方ニ出テ、其末尖レリ。尾亦長クシテ、分岐シ。其兩端尖レリ。羽毛ハ、腹部白ク。翼及ビ尾ハ黒ク。喉部、赤褐色ナ

り。

常習

飛翔頗ル輕捷ナリ。性温暖ヲ好ミ、寒冷ヲ懼ル。毎歲春來リ。秋去ル。常ニ小蟲ヲ捕食ス。通常人家ノ檐ニ巢ヲ構成ス。

効用

蚊蠅其他害蟲ヲ除去スルノ効アリ。

④

うぐひす 柴鶴鴿

部分

體燕ヨリ稍々大ナリ。嘴ハ細小ナリ。脚ハ長クシテ、三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向ヘリ。翼ト尾トハ甚ダ長シ。腹部灰白色ニシテ、其他ハ總テ帶青黄色ナリ。

常習

竹叢茂林ニ棲ミ。小蟲類ヲ食トス。立春ノ候ヨリ囀シ。好ミテ梅花ニ遊ブ。

効用

音聲頗ル清亮ナルヲ以テ、人ノ耳ヲ娛マシム。

⑤

もず 伯勞

部分

體雀ニ比スレバ稍々大ナリ。嘴ハ淡黑色ニシテ、端未鈎曲シ。且堅銳ニシテ、上顎ニ齒アリ。口ノ兩傍ニ粗毛アリ。眼ハ圓大ナリ。脚ハ黑色ニシテ、強勁ナリ。前趾三個、後趾一個アリ。爪ハ銳シ。翼ハ短ク、尾ハ長シ。翼ハ淡黑色ニシテ、腹部ハ白色

ニ斑點アリ。其他ハ凡テ赤褐色ナリ。

常習

森林ニ栖息シ。小蟲小禽等ヲ捕ヘテ食トス。食餌餘リアルトキハ、之ヲ樹枝ニ串サシ貯藏シテ、他日ノ用ニ供スト云フ。體小ナレド性勇猛ナリ。

効用

肉ハ食料ニ供シテ、美味アリ。

⑥

からす 慈鳥

部分

嘴ハ黒クシテ太ク。鼻孔ハ細長ナル毛ニテ蓋ハル。觸感極メテ鋭シ。脚ハ短クシテ、四趾アリ。三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向フ。鉤曲セル爪

アレドモ鈍シ。羽毛ハ深黒色ニシテ光澤アリ。

常習

性、噪惡ニシテ、群居ヲ好ミ。村里ノ樹林ニ棲ミ。田圃ニ出デ、穀菜、果蔬等ヲ食ヒ。又好ミテ腐敗物ヲ食シ。鳴聲聽クニ堪ヘズ。

効用

害蟲及ビ腐敗物ヲ除去スルノ、効アレドモ、亦田圃ノ種子ヲ啄ミ。果實ヲ竊ム。故ニ甚ダ人ニ厭ハル。

⑦

すゞめ 雀

部分

嘴ハ本太クシテ末尖リ。脚ハ小ニシテ。前趾三個、後趾一個アリ。毛ハ褐色ニシテ、黒點ヲ有

雄ニハ喉ニ黒色ノ羽毛アリ。

常習

人家堂宇ノ檐等ニ巢ヲ構ヘ。小蟲穀物類ヲ食トス。性群居ヲ好ミ。鳴聲頗ル喧シ。

効用

肉ハ、食料ニ供シテ、味美ナリ。田野ニ聚リテ、穀物ヲ害スルコトアリト雖モ、亦害蟲及ビ雜草ノ種子ヲ啄ムノ効アリ。

⑧ にはどり 雞

部分

頭上ニ、赤色ノ肉冠アリ。雄ノ冠ハ、雌ノ冠ヨリ大ニシテ、其縁粗キ鋸齒狀ヲナセリ。嘴ハ圓錐狀ニシテ、堅牢ナリ。脚ハ強クシテ、四趾ヲ具ヘ。

三趾ハ前方ニ向ヒ、一趾ハ後方ニ向ヘリ。爪ハ堅牢ニシテ、土ヲ掘ルニ適ス。雄ノ脚ニハ距アリ。翼ハ短ク、且弱クシテ、飛翔ニ適セズ。雄ノ尾ハ、羽多クシテ長ク、弓狀ヲナシテ垂下シ。羽毛ハ美麗ニシテ光澤アリ。色ハ黒、白、斑等種々アリ。雌ハ雄ニ比スレバ、稍々小ニシテ、且美麗ナラズ。

常習

人家ニ畜養セラレ。好ミテ穀物、野菜、小蟲ノ類ヲ食ス。勁爪ヲ以テ、地面ヲ搔散シ、食物ヲ求ムルノ習慣アリ。雄ハ性勇悍ニシテ、能ク爭鬪ス。雌ハ温和ニシテ、其雛ヲ撫育スルニ、愛情最モ

深シ。

効用

雄ハ時ヲ定メテ、鳴クガ故ニ。之ニ因リテ、時刻ヲ知ルベシ。肉及ヒ卵ハ、食料ニ供シテ滋味アリ。羽毛ハ拂子等ニ作ルベシ。

⑨ ききド 雉

部分

雄ニハ、頭上ニ毛冠アリ。眼ハ茶色ニシテ、其周邊ニハ羽毛ナク。赤キ皮膚ヲ露セリ。嘴ハ短クシテ、堅銳ナリ。翼ハ短シト雖モ、頗ル強ク。脚ハ甚ダ強剛ニシテ。前趾三個。後趾一個。雄ニハ距アリ。又其尾ハ甚ダ長クシテ。殆ト身長ニ倍

シ。其末尖レリ。羽毛ハ黒褐紫赤等ノ諸色相雜リ。腹部ハ黒シ、雌ニハ冠ナク、羽毛黄褐、黒斑ニシテ雄ノ如ク美麗ナラズ。

常習

山野ニ棲ミ、蟲類蛇等ヲ食トス。性勇猛ニシテ善ク鬪フ。飛翔スルトキハ、翼ヲ以テ、體ノ側傍ヲ打ツガ故ニ、羽響甚ダ高シ。然レドモ高翔スルコト能ハズ。地上荊棘ノ間ニ、其卵ヲ産置ス。

効用

肉ハ食料ニ供シテ味美ナリ。羽毛ハ、美麗ナルヲ以テ、飾具トナスベシ。

⑩ つる 鶴

部分

體大ニシテ、長ケ高シ。嘴ハ青綠色ニシテ、頗ル長ク、且堅牢ナリ。頸ハ細長ナリ、脚亦甚ダ長クシテ、四趾アリ。三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向ヘリ。翼ハ長大ナリ。尾ハ其本白クシテ、末端黒シ。數種アリ、鶺鴒丹頂鶴ヲ最著トス。鶺鴒ハ、羽毛灰白色ニシテ、頰赤色ナリ。丹頂鶴ハ、羽毛純白色ニシテ、頭上ニ、深紅色ノ羽毛アリ。

常習

沼澤ノ近傍ニ棲ミ、魚、蟲、蛙類ヲ食トス。高ク天ニ舞翔シ。鳴聲清亮。人ヲシテ、爽快ナラシム。

効用

肉ハ、食料ニ供シテ、味美ナリ。羽ハ、羽帚、飾

具等ヲ製シ。毳毛ハ、綿絮ニ雜ヘテ、織物トス。

① さぎ 鷺

部分

體甚ダ瘠セタリ。頭上ニ長キ羽毛アリ。嘴ハ、黒色ニシテ長シ。頸亦細長ナリ。脚ハ甚ダ長クシテ、水ヲ涉ルニ適ス。前趾三個、後趾一個アリ。趾ハ黄色ナリ。翼亦甚ダ長クシテ、其端殆ド尾端ニ達セリ。尾ハ短シ。白鷺、蒼鷺等ノ種類アリ。白鷺ハ、羽毛純白色ニシテ、蒼鷺ハ、灰白色ナリ。

常習

村里ニ遠キ、森林ニ棲ミ、河濱、池沼等ニ出デ、小魚ヲ捕ヘテ、食トス。沼池ヲ涉ルコト巧ナリ。

蒼鷺ハ夜間飛翔シテ鳴ク其聲悲シ。

効用 肉ハ食料トナスベシ。羽毛ハ羽帚等ニ作ルベシ。

⑤ あひろ 鷺

部分 嘴ハ匾平ニシテ。上嘴ノ端末ニ、一種ノ硬質ヲ具ヘ。且兩嘴ノ縁邊ハ、鋸齒狀ヲナス。鼻孔ハ嘴上ニ在リ。眼ハ凸出セリ。頸ハ長シ。脚ハ體ノ中央ヨリ、稍々後部ニ在リテ短ク。前趾三個後趾一個ヲ具フ。前趾ニハ、蹼ヲ具ヘ。之ヲ以テ游泳ス。翼ハ、短小ニシテ、飛翔ニ適セズ。尾ハ甚ダ短ク。羽毛

ハ密ニシテ、光澤アリ。色ハ白、或ハ斑等種々アリテ、美麗ナリ。

常習 人家ニ、畜養セラレ。魚、蟲、穀物ヲ食トス。水ヲ泳クヲ巧ニシテ。常ニ河、或ハ池ニ浮游シテ。水中ノ魚、蟲ヲ捕ル。此鳥ハ、卵ヲ糶スコト能ハズ。故ニ、通常糶ヲシテ。之ヲ糶サシム。

効用 肉及ビ卵ハ、食料ニ供スベシ。

⑥ がん 雁

部分 體ノ諸部、概シテ鷺ニ類ス。羽毛ハ褐色ニ、黒斑アリテ。胸腹部、稍々白ク。視感ハ最モ銳シ。

常習

此鳥ハ、燕ニ反シ。寒地ヲ好ムガ故ニ。秋來リ。春去ル。常ニ列ヲナシテ、斜ニ飛翔ス、之ヲ雁行ト云フ。游泳スルコト、巧ナリ。性常ニ戒嚴怠ラズ。

効用

肉ハ脂多ク、味甚ダ美ニシテ。上饌ニ供スベク。翅羽ハ、管筆、羽帚等ニ作ルベシ。

④ かも 鳧

部分

形狀雁ニ似テ、稍々小ナリ。雄ハ、頸羽青綠色ニシテ、光彩アリ。且全身ノ毛色、美ナレドモ雌ハ否ス。

常習

春去リ、秋來リ。常ニ池沼ニ群集シ。魚類ヲ

食ヒ。又果實ヲ食フ。

効用

肉ハ食用トシ、極メテ佳ナリ。羽毛ハ上品ナル燕子トナスベシ。

⑤ う 鷓鴣

部分

嘴ハ、稍々長ク。且匾平ニシテ鋸齒アリ。頸長ク、脚ハ細クシテ。前趾三個、後趾一個アリ。前趾間ニ蹼アリ。以テ游泳スルニ適ス。尾ハ短シ。羽毛ハ黒色ニシテ、鷓鴣ノ如シ。

常習

夜ハ山林ノ樹上ニ棲ミ。晝ハ河海ニ游泳シ。巧ニ水中ニ潜リ入り。魚類ヲ捕ヘテ食トス。性

貪食ニシテ。飽クコトヲ知ラズ。

効用 漁人之ヲ畜養シ。繩ヲ付ケテ水中ニ入り。魚ヲ捕ヘシム。其肉ハ食フベキモ、臭氣アリ。

第三 兩栖類

① あまがはる 雨蛤

部分 體小ナレドモ。頭ハ大ニシテ、稍々尖レリ。口ハ、廣濶ニシテ齒ナク。長厚ナル舌アリ。眼ハ頭ノ兩側ニアリ。大ニシテ凸起セリ。四肢アリ、前肢ニ四趾、後肢ニ五趾ヲ具ヘ。趾端ニ小球アリ。樹木等ニ登ルニ適ス。後肢ハ前肢ニ比スレバ大ニ長

シ。背ハ青色ニシテ。腹ハ白ク。皮膚滑カナリ。

常習

水邊又ハ樹上ニ住シ。雨ノ降ラントスルトキハ必ズ啼ク。故ニ人其聲ヲ聞テ降雨ヲトス。

② どのさまがはる 金線蛙

形狀、雨蛤ニ類シテ。之ヨリモ大ナリ。鼻孔ハ甚ダ小ニシテ口頭ニ在リ。耳ハ外部ニ顯レ、眼ノ後方ニ在リ。後肢ニ蹠アリ。背、綠色ニシテ黃線及ビ黒斑アリ。腹ハ白シ。啼聲大ニ喧シ。

③ あかがはる 山蛤

形狀、大小略々金線蛙ニ等シ。趾ハ、蹠ヲ具ヘ游泳ス

ルニ適ス。皮膚ハ肉ニ着スルコト弛キヲ以テ。剥
ク一容易ナリ。色ハ淡赤ニシテ斑アリ。濕潤ノ地
ニ住ミ。冬月ハ地中ニ蟄居シ。夏月ニ至レバ出ヅ。
其肉ハ美味ナルヲ以テ。山民炙リテ之ヲ食フ。

④ ひきがへる 蟾蜍

體格雨蛤ニ似テ遙ニ大ナリ。全身黒褐色ニシテ
黒疣アリ。其狀甚ダ醜シ。人家ノ床下溝洫等ニ住
ミ。夏月日暮ヨリ出デ、小蟲類ヲ食フ。性甚ダ鈍
ク行走遲緩ナリ。膏脂ハ醫藥ニ供シテ、刀瘡ヲ治
スルノ効アリ。

蛙類ハ團塊狀。蟾蜍ハ帶狀ニナシテ。其卵ヲ水中
ニ産ス。此卵ヨリ生ズルモノハ即チ蝌蚪ナリ。

⑤ ちんちん 蝶蟪

全體滑カニシテ、細長ナリ。四肢及ビ尾ヲ
具フ。頭ハ大ナリ。前後肢長サ同ジクテ。前趾ニ四
趾、後肢ニ五趾アリ。尾ハ匾平ニシテ、端末鈍シ。色
ハ背黒クシテ、腹部ハ通常赤色ナリ。

常習

池沼、小流等ニ群ヲナシテ住ミ。小蟲ヲ食
トシ。時々水面ニ出デ、空氣ヲ呼吸ス。性至テ静
ナリ。

第四 爬蟲類

① とかげ 石龍子

部分 體細長ニシテ。頭ハ略々三角狀ヲナセリ。鼻孔ハ口頭ノ兩傍ニ在リ。眼ハ開閉スベシ。口ハ廣潤ナリ。四肢ハ短クシテ。後肢ハ前肢ヨリ稍々長ク。各肢ニ五趾ヲ具ヘ。趾端ニ細小ナル爪アリ。尾ハ圓長ニシテ細ク。其端尖レリ。全身細鱗ヲ被リ。腹部ハ稍々白ク。又綠色ナルモノアリ。背ハ黒色ニ碧條アルモノアリ。茶褐色ノモノアリ。

常習 石垣ノ間。又ハ叢中ニ住ミ。小蟲類ヲ食ト

ス。動作甚ダ敏捷ナリ。冬月ハ蟄居シテ出ヅルコトナシ。

② やもり 守宮

部分 形狀略々石龍子ニ類シ。體匾平ニシテ許多ノ疣アリ。其狀醜シ。眼ハ光輝アリテ夜間能ク視ユ。口ニ齒ヲ具ヘ。舌ハ厚シ。四肢ニ五趾アリテ。趾端ニ小球ヲ具ヘ。之ヲ以テ他物ニ吸着ス。尾ハ長クシテ尖レリ。全身ニ細鱗アリ。背ハ鼠色ニシテ。腹ハ稍々白色ナリ。

常習 廢屋舊壁等ノ間ニ住ミ。夜中出デ、小蟲

ヲ捕食ス。冬月ハ蟄居シテ出デズ。

効用 夏月家屋ニ住スル害蟲ヲ除クノ効アリ。

③ へび 蛇

部分 體圓クシテ甚ダ長ク。尾ニ至ルニ從テ次

第ニ細ク。自在ニ屈撓ス。頭ハ小ナリ。口ハ大ニシ

テ鉤狀ノ銳牙ヲ具フ。此牙ハ食餌ヲ保持スルノ

具ニシテ。咀嚼ノ用ヲナサズ。舌ハ纖小ニシテ。其

端分歧シテ尖レリ。目ニハ瞼ナシ。背ニ鱗ヲ被リ。

腹ニ無數ノ殼皮アリ。肋骨ノ動搖ト、脊柱ニ撓性

アルトニヨリ。四肢ナクシテ能ク匍匐ス。黄領蛇

赤棟蛇、蝮蛇等ノ數種アリ。黄領蛇ハ鱗青色ニシ

テ。赤棟蛇ハ赤色ノ斑紋アリ。蝮蛇ハ長サ稍々短

ク。頭稍々三角形ニシテ。上顎ニ二個ノ毒牙ヲ具

フ。此牙ハ平常ハ僵伏シ。用フルトキハ之ヲ起立

ス。鱗ハ青色ニ褐斑アリ。

常習 草莽中ニ潛伏シ。蟲類ヲ捕ヘテ之ヲ吞食

ス。行步甚ダ速カニシテ。樹上或ハ其他ノ高處ニ

登リ。又能ク水面ヲ匍匐ス。好ミテ物ニ捲キ付ク。

然レドモ、人ニ害毒ヲ加ヘズ。年々其鱗皮ヲ脱換

ス。冬月ハ蟄居シテ出ヅルコトナシ。蝮蛇ハ性酷

ニシテ人ヲ咬ミ。牙ヨリ毒液ヲ出シテ、之ヲ人身ニ注入ス。害ヲ被ル者ハ之ガ爲メニ煩悶シテ。或ハ死スルコトアリ。

効用

蝮蛇ノ肉ハ乾シテ醫藥ニ供スベシ。

④ いしがめ 水龜

部分

頭ハ小ニシテ尖レリ。頭ハ伸縮自在ナリ。眼ハ開閉スベシ。口ニ齒ナク。之ニ代フルニ齧骨ヲ以テス。俗ニ之ヲ一枚齒ト云フ。背腹ニ堅硬ナル。楕圓形ノ甲殼アリ。兩甲ハ體ノ側傍ニ於テ相接合シ。背甲ハ隆起シ。其色淺黒ニシテ。全面ニ六

角狀ノ紋アリ。腹甲ハ深黒色ニシテ數多ノ横紋アリ。四肢ハ黒色ノ鱗ヲ被リ。短クシテ五趾ヲ具ヘ。各趾ニ爪アリ。趾間ニ蹼アリ。尾ハ短クシテ尖レリ。

常習

江河沼澤等ニ住ミ。小蟲類ヲ食餌トス。動作遲鈍ニシテ敵ニ遇フトキハ。四肢及ビ首尾ヲ甲中ニ藏ス。冬ハ泥土中ニ蟄居シテ出テズ。春陸ニ上リ。其卵ヲ土中ニ産ム。

効用

甲ハ琢磨シテ器具ヲ作ルベシ。

⑤ すつぷん 鼈

體格。概子水龜ニ同ジクシテ。口頭ハ尖レリ。甲ハ水龜ヨリハ薄クシテ。四邊ニ肉裙アリ。背甲ハ深鼠色。腹甲ハ白色ニシテ。共ニ紋ナシ。眼ハ甚ダ小ナリ。夏秋ノ候兒ヲ産ス。肉ハ食料ニ供シテ滋味アリ。

第四 魚類

① すゞき 鱸魚

部分 口ハ潤大ニシテ尖リ。堅銳ナル齒ヲ具フ。鱗ハ堅硬ニシテ刺狀ヲナシ。背鱗二個。胸鱗。腹鱗各一對。臀鱗。尾鱗各一個アリ。鱗ハ小ニシテ。白色

ニ黒斑アリ。

常習 東南ノ海ニ住ミ。昆蟲小魚ヲ食トス。夏月卵ヲ産マンガ爲メ。河ニ上ル。

効用 肉ハ食料ニ供シテ。味甚ダ美ナリ。腸ハ鹽藏シテ食フベシ。

② たひ 棘鬣魚

部分 體扁平ニシテ。頭ハ大ナリ。眼ハ圓大ナリ。齒ハ堅銳ナリ。鱗ハ硬クシテ。背鱗一個。胸鱗。腹鱗各一對。臀鱗。尾鱗各一個アリ。背鱗ハ刺狀ヲナシ。尾鱗ハ分岐セリ。鱗ハ大ニシテ。背ハ淡紅色。腹ハ

白色ナリ。又黒色ノモノアリ。之ヲ烏鰩魚ト云フ。
常習 大海ニ住シ。小魚蟲類ヲ食トス。四時共ニ多シ。

効用 味佳美ナルヲ以テ。調膳中第一等トス。

③ いわし 鰩魚

部分 體厚クシテ長シ。頭ハ小ナリ。眼及ビ口ハ大ナリ。鰭ハ背鰭一個。胸鰭腹鰭各一對。臀鰭尾鰭各一個アリ。尾鰭ハ分岐セリ。細鱗アリ。其色背ハ濃藍色ニシテ。腹ハ白色ナリ。

常習 諸方ノ海中ニ産シ。無數ノ群ヲナシテ游

泳ス。

効用 肉ハ食料ニ供シ。又煮テ油ヲ搾取シ。或ハ肥料トナスベシ。

④ あゆ 香魚

部分 體細長ナリ。頭ハ小ニシテ尖レリ。口ハ濶クシテ細齒アリ。鰭ハ柔カニシテ。背鰭二個。胸鰭腹鰭各一對。臀鰭尾鰭各一個アリ。尾鰭ハ分岐セリ。鱗ハ軟滑ニシテ。細カク。背ハ淡黒色。腹ハ白色ニシテ光輝アリ。

常習 春季河口ニ生シ。漸々河ヲ沂リ。沂ルニ從

テ成長シ。秋季復タ下リテ死ス。性清水ヲ好ミ。苔藻等ヲ食シ。又水面ニ飛ブトコロノ小キ羽蟲ヲ食フ。故ニ蚊鉤ヲ以テ之ヲ釣ルベシ。

効用 肉ハ、食料ニ供シテ美味アリ。又其腸ヲ鹽藏シタルモノハ、頗ル風味アリ。

⑤ はに 鱒魚

部分 體香魚ニ比スレバ短クシテ肥ヘタリ。口ハ小ナリ。背鰭一個。胸鰭一對。腹鰭。臀鰭。尾鰭各一個アリ。背鰭ハ脊ノ中央ニ在リテ。三角狀ヲナシ。胸鰭ハ、細長ナリ。尾鰭ハ、分岐セリ。鱗ハ、疎ニシテ、

其色背ハ淡黑。腹ハ白色ナリ。

常習 夏月ハ河湖ニ住ミ。昆蟲類ヲ食トス。冬ハ

河岸ノ石間ニ潛居シテ出デズ。

効用 肉ハ煮。或ハ炙リテ食フベシ。

⑥ こひ 鯉魚

部分 口ハ小ニシテ。其兩傍ニ一對ノ鬚アリ。鰭ハ、背鰭一個。胸鰭。腹鰭各一對。臀鰭。尾鰭各一個アリテ。尾鰭ハ分岐セリ。鱗ハ大ニシテ細條アリ。背ハ、黑色ニシテ。腹ハ淡黑ナリ。又紅色ノモノアリ。之ヲ金鯉ト云フ。

常習

河湖ニ住ミ。草苔昆蟲類ヲ食トス。

効用

庭池ニ畜ヒテ賞觀スベク。肉ハ味甚ダ美

ニシテ。河魚中第一ナリ。

⑦ ふな 鯽魚

形狀概子鯉魚ニ類ス。只體匾平ニシテ少シク短ク。口傍ニ鬚ナキノミ。河湖池沼ニ生ズ。肉ハ食料ニ供シテ味美ナリ。

⑧ ごと やり 泥鰌

部分

全體長サ三四寸許ナリ。口ハ小ニシテ。兩

傍ニ鬚アリ。鰭ハ軟カニシテ。背鰭一個。胸鰭腹鰭

各一對。臀鰭尾鰭各一個アリテ。尾鰭ハ圓シ。皮膚

ハ滑カニシテ鱗ナシ。其色背ハ蒼黒ニシテ。腹ハ

稍々白シ。

常習

田澤溝渠等ニ産シ。好ミテ泥中ヲ潛リ。又

時々水面ニ浮ビテ泡ヲ吐ク。

効用

肉ハ食料ニ供シテ味美ナリ。

⑨ ひらめ 板魚

部分

體匾平ニシテ。略々楕圓形ヲナセリ。頭ハ小

ニシテ。口ニ細銳ナル齒アリ。兩眼共ニ體ノ左側

ニ在リテ相並ベリ。鰭ハ凡テ柔カニシテ。背鰭一

個。胸鰭、腹鰭各一對。臀鰭、尾鰭各一個あり。腹鰭ハ、
頸下ニ在リ。背鰭、臀鰭ハ、頸部ヨリ、尾邊ニ連レリ。
尾鰭ハ、端末廣クシテ、稍々扇ノ如シ。鱗ハ、細小ニシ
テ、左側ハ、黒色。右側ハ、白色ナリ。

常習

海岸ニ住シ。小魚、小蟲ヲ食トス。游泳スル
トキハ、左側ヲ上ニシ。右側ヲ下ニス。

効用

肉ハ、味美ニシテ、食料ニ供スベシ。

⑩ うなぎ 鰻鱺

部分

體圓筒狀ニシテ長シ。口ハ、潤クシテ尖レ
リ。眼ハ、小ナリ。背鰭ハ、殆ト尾鰭ニ連レリ。皮膚頗

ル粘滑ニシテ、鱗ナク。背ハ、黒色ニシテ、腹ハ、白色
ナリ。

常習

江河、池沼等ニ産シ。昆蟲、魚卵等ヲ食トス。
晝ハ、泥中。或ハ、河堤ノ石間ニ潜伏シ。夜ハ、出デ、

食料ヲ索ム。

効用

肉ハ、味頗ル美ナリ。通常炙リテ食ス。

⑪ ふぐ 河豚

部分

體肥滿シテ短ク。腹部甚ダ膨脹セリ。眼ハ、
金色ニシテヨク開閉ス。口ハ、甚ダ小ク。上顎ノ骨
ハ、固着シテ動カズ。宛モ齒ノ如シ。背鰭ハ、一個ニ

シテ脊ノ後部ニ在リ。胸鰭一對。鬚鰭、尾鰭各一個アリ。腹鰭ナシ。頭部及ビ腹部ニハ細刺アリ。背ハ黒色ニ斑アリ。腹ハ白色ナリ。

常習 諸方ノ海ニ産ス。性物ニ觸ルレハ必ず怒ル。怒ルトキハ腹部非常ニ膨脹ス。

効用 食用ニ供スベシト雖モ、猛劇ナル麻醉毒アリ。人之ヲ食フトキハ必ず中毒ス。故ニ注意スベシ

第五 多節類

① かぶとむし 飛生蟲

部分 狀貌勇剛ニシテ。全身赭黒色ナリ。口ハ頭

ノ下部ニ在リテ。左右兩鬚腮ヲ具フ。眼ハ大ニシテ。頭ノ兩側ニ在リ。感鬚ハ一對アリテ、甚ダ短シ。雄ハ頭上ニ一個ノ角ヲ有シ。長クシテ、其短再分セリ。胸部ノ上方ニ亦一個ノ角アリ。短クシテ、其末分歧セリ。此角ハ頭部ノ角ト共ニ強剛ニシテ。敵ヲ攻撃スルノ具ナリ。雌ハ兩角共ニ有セズ。翅ハ二對アリ。前對ハ堅硬ニシテ、飛翔ニ適セズ。只體ヲ保護スルノ爲。後對ハ膜質ニシテ。前對ニ比スレバ色稍々薄ク。甚ダ長大ナリ。平常ハ褶折シ

テ前翅ノ下ニ歛メ。飛翔スルトキハ之ヲ伸張ス。脚ハ強堅ニシテ、三對アリ。腹部ハ數環ヨリ成リ。翅ニテ蔽ハル。

常習 皂莢樹ニ生ジ。孔ヲ穿チテ其液汁ヲ吸ヒ。晝ハ潛伏シ。夜間出デ、飛翔ス。

② ばつた 蟲

部分 全身褐色ナリ。口ニハ左右兩嚙腮ヲ具フ。感鬚ハ細長ナリ。翅ハ二對アリ。前對ハ堅クシテ狭ク。後對ハ薄クシテ廣シ。脚ハ三對アリ。後ノ一對ハ前ノ二對ヨリ長大ニシテ、且強ク。之ヲ以テ

地ヲ撥子跳躍ス。腹部ハ數多ノ環節ヨリ成レリ。

常習 夏月、田野ニ住ミ。草葉ノ類ヲ食トス。跳躍力甚ダ強シ。口ヨリ黒褐色ノ液汁ヲ出ス。

③ きぎす 蝨

形貌略々蟲蝨ニ似テ。全身綠色ナリ。感鬚ハ細クシテ甚ダ長シ。腹部ハ下部少シク膨起セリ。夏月、原野ニ跳躍シ。一種ノ聲ヲ發ス。故ニ人籠養シテ賞玩ス。

④ てふ 蝶

部分 形貌色澤美ニシテ愛觀スベシ。口ハ甚ダ

長クシテ液ヲ吸フニ適ス。平常ハ捲キテ螺旋狀ヲナシ。液汁ヲ吸ハントスルトキハ之ヲ伸張ス。感鬚一對アリテ、細長ナリ。翅ハ二對アリ。廣クシテ、形宛モ扇ヲ擴ゲタルガ如シ。前對ハ、後對ニ比スレハ、稍々大ナリ。脚ハ三對アリテ細小ナリ。腹部ハ數節ヨリ成リテ。端末稍々尖レリ。種類甚ダ多シ。體ハ、椀子柔毛ニテ蔽ハレ。翅ハ、美麗ニシテ。黒、白、黄等ノ諸色アリ。又種々ノ斑紋、文線アルモノアリ。通常上面ニ細微ノ鱗粉ヲ被レリ。

常習 夏月出デ、草花ノ間ニ飛翔シ。花蜜ヲ取

リテ食トス。

⑤ かひこのてふ 蠶蛾

部分

形貌椀子蝶ニ類シテ。體稍々肥エタリ。翅ハ、稍々小ニシテ、飛翔ニ適セズ。感鬚ハ、細小ニシテ。復々之ヨリ、許多ノ小鬚ヲ生シ。宛モ櫛齒ノ如シ。雄ハ、翅灰色ヲ帶ヒ。感鬚黒色ナリ。雌ハ、雄ヨリ大ニシテ。翅白ク。感鬚小ニシテ。蒼色ヲ帶ヒ。腹部膨滿セリ。

常習

通常人家ニ畜養ス。此蟲ノ幼時ヲ蠶ト云フ。專ラ桑葉ニヨリテ、生活シ。充分長ズレバ、全ク

食ヲ廢シ。口ヨリ細絲ヲ吐キ。繭ヲ作りテ其内ニ入り。數日ノ後化シテ蠶蛾トナリ。破リテ外ニ出ツ。

効用 繭ヨリ絹糸ヲ製シ。以テ諸種ノ織物トナシ。又ハ其他ノ用ニ供ス。故ニ世ノ益ヲナスコト。蟲類中第一トス。

⑥ とんばう 蜻蜒

部分 口ハ頭ノ下部ニ在リテ。強剛ナル嚙腮ヲ具フ。眼ハ甚ダ大ニシテ凸起シ。殆ド頭ノ全部ヲ占ム。感鬚ハ一對アリテ細小ナリ。翅ハ二對アリ

テ、左右ニ並列シ。兩對同大ニシテ共ニ膜質ナリ。脚ハ三對アリテ細小ナリ。腹部ハ細長ニシテ數節ヨリ成レリ。數種アリ。大サ色等從テ異ナリ。

常習 夏月出テ、飛翔シ。小羽蟲ヲ捕ヘテ食トス。

効用 有害ノ小蟲ヲ捕食スルガ故ニ。農家ニ益アリ。

⑦ せみ 蟬

部分 口ハ長クシテ且硬ク。端尖リテ下方ニ向ヒ。吸液ニ適ス。眼ハ凸出セリ。感鬚ハ一對アリテ

甚ダ短シ。翅ハ二對アリテ皆薄シ。前對ハ後對ヨリ長大ナリ。脚ハ三對アリテ強大ナリ。腹部ハ數環ヨリ成リ。雄ハ其下部ニ二個ノ發聲器ヲ具ヘリ。數種アリ。大サ及ビ色等從テ異ナリ。

常習 夏月樹林ニ住ミ。植汁ヲ吸飲ス。鳴聲頗ル喧シ。

⑧ はち 蜂

部分 ロニ左右兩齧腮アリ。感鬚一對アリテ短シ。翅ハ二對アリ。共ニ膜狀ニシテ細長ク。前對ハ後對ニ比スレバ稍々大ナリ。脚ハ三對アリテ。前

對最モ短ク。後對ニ至ルニ從テ順次ニ長シ。腹部ハ稍々膨張シ。端末尖リテ、螫針ヲ具フ。數種アリ。黄蜂クマバチ蜜蜂ミツバチヲ最モ著明トス。

常習 黄蜂ハ樹枝。又ハ人家ノ檐ニ巧ナル巢ヲ作り。蜜蜂ハ原野ニ生ジ。又多ク人家ニ畜ハル。

効用 黄蜂ノ子ハ。山民採テ之ヲ食フ。蜜峰ヨリハ。蜜及ビ蠟ヲ取ルベシ。

⑨ あり 蟻

部分 體小ニシテ。形略々蜂ニ類シテ翅ナシ。口ニハ齧腮ヲ具フ。感鬚ハ短小ニシテ一對アリ。脚ハ三

對アリテ細シ。腹部ハ數環ヨリ成リ。稍々膨起セリ。數種アリ。皆通常黒色ナレドモ。亦時ニ赤色ノモノアリ。

常習

土中ニ穴ヲ穿チテ群居ス。智慮深クシテ。種々ノ匠業ヲナス。筋力頗ル強ク。其體重ニ十倍セルモノヲ運ブ。秋夏ノ間食物ヲ巢中ニ運搬シ。以テ冬春ノ用ニ供ス。

⑩ はつ 蠅

部分

體ハ小ニシテ。長サ五分ニ至ルモノ稀ナリ。眼ハ大ナリ。口ハ細長ニシテ。液ヲ吸フニ適セ

リ。感鬚一對アリ。極メテ細短ナリ。翅ハ二對アリテ薄シ。脚ハ三脚アリ。腹部ハ環節ヨリ成リ。稍々膨起セリ。數種アリ。麻蠅ハル蒼蠅ハル等ナリ。

常習

夏月人家ニ住ミ。好ミテ汚物ヲ食フ。

⑪ くも 蜘蛛

部分

頭胸部ハ小ナリ。口ニハ左右兩齧腮ヲ具ス。脚ハ四對アリテ細長ナリ。又口ノ兩傍ニ短小ナル一對ノ脚アリ。是レ食餌ヲ口ニ入ル、ノ助ケヲナシ。又行歩ノ用ヲナスモノナリ。腹部ハ膨大ニシテ。稍々圓ク。其端ニ四個乃至六個ノ突起

物アリ。之ヨリ數條ノ細絲ヲ出ス。種類頗ル多シ。最モ著明ナルモノヲ、土蜘蛛ツチカメ及ビ絡新婦ツヨクダマトス。土蜘蛛ハ體褐色。脚、稍々短クシテ、黒毛ヲ生ジ。其端ニ短爪アリ。絡新婦ハ、黄色ニシテ、黒青赤斑アリ。甚ダ美麗ナリ。

常習 土蜘蛛ハ檐下。或ハ石垣間ニ、粘質ノ細絲ヲ張リ。絡新婦ハ、樹間ニ細絲ヲ張リ。共ニ小蟲ノ來リ罹ルヲ待チ。捕ヘテ食餌トナス。細絲ヲ以テ巢ヲ作ルコト。甚ダ巧ニシテ。其狀、網ノ如シ。

効用 害虫ヲ除去スルノ効アリ。

(十二) いーがに 石蟹

部分 體、扁平ニシテ。稍々四角形ヲナセリ。全身堅硬ナル殻ヲ以テ蔽ハル。口ハ頭ノ下部ニ在リテ、左右、兩嚙腮ヲ具フ。感鬚ハ、二對アリテ、短小ナリ。眼ハ、長莖ヲ具ヘ。自在ニ動搖ス。脚ハ五對アリ。第一對ハ、他對ニ比スレバ太クシテ。其端ニ強剛ナル鉸ヲ具フ。此鉸ハ、物ヲ捕フルノ具ニシテ。鋸齒狀ヲナセリ。餘ノ四脚ニハ、鉤曲セル尋常ノ爪アリ。長クシテ銳シ。腹部ハ短クシテ。頭胸部ノ後方ヨリ、下部ニ反屈セリ。

常習

河流ノ石間ニ住ミ。小蟲ヲ捕ヘテ食トス。其歩行スルヤ。横進ニシテ。左右何レニ向ヒテモ。能ク行走ス。故ニ其體ヲ回サズシテ。路ヲ反スコトヲ得ベシ。蛇ト同ジク。年々其殻ヲ脱換ス。

効用

肉ハ食フベシト雖モ。味美ナラズ。

⑬

いせ江び

龍蝦

部分

長サ一尺許ニシテ。略々圓筒狀ヲナセリ。全身堅剛ナル殻ヲ以テ蔽ハル。殻ハ數環ヨリ成リテ。上下ニ分レ。暗赤色ニシテ。頭胸部ニハ數多ノ突起物アリテ。刺ノ如シ。口ハ頭ノ下部ニアリ。

テ。左右兩齧腮ヲ具フ。感鬚ハ二對アリ。一對ハ細小ニシテ。他對ハ太ク且甚ダ長ク。許多ノ突起物アリ。眼ハ長莖ヲ具ヘ。動搖自在ナリ。脚ハ五對アリテ。端ニ爪ヲ具フ。腹部ハ數節ヨリ成リ。一節毎ニ左右一對ノ鰭ヲ具ヘ。端末ニ強大ナル尾鰭アリ。其形扇ヲ擴ケタルガ如シ。

常習

海中ニ住ミ。小蟲、小魚類ヲ食トス。脚ヲ以テ前進シ。腹部ヲ屈曲シテ。後方ニ跳躍ス。其力甚ダ強シ。

効用

肉ハ食料ニ供シテ味美ナリ。

④ てなががび 草蝦

形、概子龍蝦ニ類シテ。體小ナリ。殻ハ薄弱且平滑ニシテ、突起物ナシ。感鬚ハ一對ハ短ク、他對ハ殊ニ長シ。脚ハ其第一對甚ダ長クシテ、端ニ巨大ナル缺ヲ具フ。河水ニ住シ。長脚ヲ以テ食餌ヲ缺取ス。肉ハ味最モ美ナリ。

第六 軟體類

① たこ 章魚

部分 體軟滑ニシテ。頭ハ腹部ノ下ニ位シ。眼ハ圓大ニシテ。口ハ頭ノ中央ニ在リ。口中ニ堅硬ナ

ル齶ヲ具フ。俗ニ之ヲ鳶鳥ト云フ。脚ハ口ノ周邊ニ在リ。其數ハ個ニシテ、數多ノ吸盤アリ。之ヲ以テ物ニ吸着ス。脚ハ行步游泳ノ具ニシテ、且ツ食餌ヲ取ルニ必要ノモノナリ。胴ハ宛モ囊ノ如クニシテ。内臟諸機皆此中ニ在リ。

常習 諸方ノ海ニ住シ。魚蝦蟲類ヲ食トス。游泳

スルトキハ、頭ヲ下ニシ。又ヨク陸地ヲ步行ス。海岸ニ出テ、蔬菜ヲ竊シ。芋魁ヲ掘リ食フ。

効用 食用ニ供シテ味美ナリ。

② いか 烏賊

部分 形狀章魚ニ同ジクシテ。腹部稍々長シ。ハ脚ノ外ニ長脚二條アリ。背ニ甲アリ。之ヲ海鰓蛸ト云フ。形小舟ノ如シ。又腹内ニ墨囊アリ。

常習 章魚ノ如ク陸ニ上ラズ。多クハ海邊近クニ住メ。寒暑ノ甚シキ片ハ。洋中ニ去ル。游泳スル片ハ。頭ヲ後ニシ。胴ヲ先ニス。敵ニ襲ハル、片ハ。其内ヨリ墨汁ヲ放チ。水ヲ濁ラシテ。難ク免レ。又食餌ヲ捕フルニモ。之ヲ用ユ。

効用 肉ハ。食料ニ供シテ。味美ナリ。甲ハ。磨礪ノ用ニ供シ。墨汁モ亦用フベシ。

③ かたつぶり 蝸牛

部分 貝殻ハ薄クシテ。螺旋狀ヲナシ。形稍々扁圓ナリ。體ハ。貝殻中ニ在リ。其形ニ從テ螺旋シ。柔軟ニシテ。自在ニ伸縮ス。口ハ。頭ノ下部ニ在リ。口ノ上方ニ一對ノ感角アリ。亦伸縮自在ナリ。眼ハ。感角ノ上部ニ在リテ。長莖ヲ有ス。腹ヲ以テ脚ニ代ヘ。物ニ吸着シ。或ハ匍匐ス。

常習 濕氣アル朽木。又ハ陰地ニ住ミ。草類ヲ食トス。匍匐スルトキハ。體ノ一部ヲ出シ。貝殻ヲ背上ニス。他物之ニ觸ル、トキハ。忽チ殻中ニ入ル。

効用

肉ハ炙リテ食スベシ。

④ たにー 田螺

部分

貝殻ハ一個ニシテ螺旋狀ヲナシ。其一端尖レリ。體ハ貝殻中ニ在リテ。貝殻ノ形ニ從テ螺旋シ。伸縮自在ナリ。頭端ハ角質ノ圓盤ヲ以テ之ヲ覆フ。是レ體ヲ保護スルノ具ナリ。且ツ頭ニハ二個ノ角アリ。

常習

水田又ハ池沼ノ渚水中ニ住シ。移動スルトキハ體ヲ貝殻中ヨリ延出シテ匍匐ス。

⑤ はまぐり 文蛤

部分

貝殻ハ二枚アリ。一方ニ凸處アリ。之ヲ嘴ト云フ。二殼此處ニテ關節齒ト外韌帶トニヨリテ接合シ。蝶鉸ノ狀ヲナセリ。體ハ柔軟ニシテ外套ニ裏マル。外套ハ左右兩垂アリテ。貝殻ノ裏面ニ弛ク附着セリ。口ハ體ノ前方ニ在リ。後方ニ水管アリ。脚ハ匾平ニシテ宛モ舌ノ如シ。

常習

海岸ノ砂中ニ住シ。海藻類ヲ食トス。

効用

肉ハ煮。又ハ炙リ。或ハ乾シテ食料ニ供スベシ。貝殻モ亦諸種ノ用ニ供スベシ。

⑥ ーグミ 蜆

形狀文蛤ニ類シテ。之ヨリ小ナリ。貝殻ハ黒色ニシテ。數多ノ細渠アリ。河湖等ノ砂中ニ住ム。肉ハ煮テ食フベシ。

松井甲太郎書



中等博物書 動物之部 終

稻垣千穎撰

史學綱要

全三冊 自神代至現時

修史ノ舉近世頗多シト雖概シテ之ヲ論ズレバ一ハ徒ニ卷帙浩繁ニシテ其ノ要ヲ得ザルト一ハ記載簡略ニ失シテ事實ノ明ナラザルトニ過ギス且略史ノ體皆紀年ヲ主トセリ所謂 天皇紀本紀等ノ體ニシテ只 帝室ノ沿革ヲ知ルニ止レリ是史ノ一部分ニシテ之ヲ一國ノ史ト稱スルニ足ラス故ニ彼ノ簡略ナル者ハ所謂年代記者ト一般ニシテ其ノ浩繁ナル者モ亦稍詳ヲ加フルノミナリ國ノ盛衰風俗ノ變遷ヨリ文教武備ニ至リ其ノ他國ノ進退

興廢ニ關スル事項ニ至リテハ舍テ記セズ是豈史ノ主意ナランヤ此ノ書大ニ世上流布ノ者ト異ニシテ著者積年史學ヲ以テ衆ニ教授シ實驗上得ル所ヲ以テ新ニ修史ノ舉アリ因テ其ノ書ノ綱ヲ提ケ要ヲ摘シ約シテ三卷トセシ者ニシテ其ノ主意專ラ幼童學史ノ用ニ供シ以テ將來史學者ノ目的トスル所ヲ改メシムルニ在リ不日將ニ劊刷成ヲ告ゲントス因テ豫メ諸彦ニ白シテ以テ高閣ヲ冀フ

東京 本郷區元町一丁目五番地 書肆 博文堂 敬白

明治十六年十月十三日版權免許
全 十八年三月十五日期成出版

愛媛縣士族

著者兼
出版人

林 光 德

熊本縣熊本區鐘木町
五十三番地寄留



出版人

東京府平民

原田庄左衛門

東京本郷區本郷元町
壹丁目五番地

